

コンサート

第27回下町大音楽市

台東区内のアマチュアオーケストラによるクラシックコンサートが一堂に開催される音楽祭です。どの楽団も個性的な演奏で観客を魅了します。



上野浅草室内管弦楽団 名曲の秋、上浅の秋

11月11日(土) 開場 午後1時30分 / 開演 午後2時00分

【会場】台東区生涯学習センター 2階 ミレニアムホール
【曲目】弦楽のためのソナタ第1番(ロッシニ)、ヴァイオリン協奏曲 ホ短調Op.64(メンデルスゾーン)
ヴァイオリン独奏: 舘市 正克、交響曲第3番「英雄」変ホ長調Op.55(ベートーヴェン)
【指揮】野口 芳久 【入場料】1,500円(全席自由) ※未就学児入場不可

上野浅草フィルハーモニー管弦楽団 今回はちょっとマニアックに

11月26日(日) 開場 午後0時45分 / 開演 午後1時30分

【会場】台東区立浅草公会堂
【曲目】ピアノ協奏曲第1番(チャイコフスキー)、交響曲第4番(チャイコフスキー)
【指揮】河地 良智 【ピアノ】脇岡 洋平 【入場料】1,500円(全席自由) ※未就学児入場不可

したやウィンドアンサンブル 嗚呼! 古き良き! 至福の音のひとときを!

12月3日(日) 開場 午後0時45分 / 開演 午後1時30分

【会場】台東区立浅草公会堂 【曲目】ルロイ・アンダーソン特集 / ブルータンゴ 他、
古閑裕而特集 / 長崎の鐘・高原列車 他
【指揮】家田 厚志 (したや音楽監督 / N響団友オーケストラ指揮者) 【入場料】1,000円(全席自由)

第41回浅草ジャズコンテスト

12月9日(土) 開場 午後1時30分 / 開演 午後2時15分

横浜・神戸に並び東京で最もジャズが盛んな台東区浅草の地で開催される、伝統あるジャズコンテストです。全国から集まったジャズミュージシャンが腕を競い合い、グランプリ受賞者には翌年のジャズフェスティバル「UENO JAZZ INN」出演権が与えられます。



第40回浅草ジャズコンテストの様子

【会場】台東区立浅草公会堂 【入場料】前売 1,500円 / 当日 2,000円(全席自由) ※未就学児入場不可

◆チケット販売場所 (「第27回下町大音楽市」「第41回浅草ジャズコンテスト」) **好評発売中!**

- カンフェティチケットセンター <https://www.confetti-web.com/>
(電話:0120-240-540 平日 午前10時~午後6時)
- 浅草公会堂窓口 (午前9時~午後5時)

重要文化財で聴く 心に寄り添う日本の歌 V

令和6年2月17日(土) 開場 午後2時 / 開演 午後2時30分

唱歌や童謡など懐かしい日本の歌をお楽しみいただける演奏会です。



前回の様子

【会場】旧東京音楽学校奏楽堂
【出演】Jソロイスト(女声アンサンブル)、与那城 敬(バリトン)、磯野 正明(チェロ)、山口 佳代(ピアノ)
【入場料】前売 3,500円 / 当日 4,000円(全席指定) ※未就学児入場不可

◆チケット販売場所 **チケット発売日: 11月8日(水)**

- カンフェティチケットセンター <https://www.confetti-web.com/>
(電話:0120-240-540 平日 午前10時~午後6時) ※電話販売は座席選択不可
- 東京文化会館チケットサービス <https://www.t-bunka.jp/>
(電話:03-5685-0650 午前10時~午後6時 / 窓口: 午前10時~午後7時) ※休館日を除く

問合せ: (公財)台東区芸術文化財団事業係 台東区下谷1-2-11
電話: 03-5828-7591 (平日 午前9時~午後5時)



ニューイヤーコンサート2024

令和6年1月6日(土) 開場 午後1時 / 開演 午後2時

【曲目】R.シューマン: ピアノ三重奏曲第1番 二短調 作品63
L.vベートーヴェン: ピアノ三重奏曲第7番「大公」変ロ長調 作品97
【出演】白井 圭(ヴァイオリン)、横坂 源(チェロ)、伊藤 恵(ピアノ)
【入場料】2,000円(全席自由) ※未就学児入場不可

チケットの発売日、販売場所など詳細が決まり次第ホームページでお知らせいたします。

企画展 **はた なかりょうすけ なか だ よしなお** 畑中良輔と中田喜直 —ブルちゃんとチャンちゃん—

12月17日(日)まで

作曲や詩も手がけた声楽家の畑中良輔と、〈夏の思い出〉、《六つの子供の歌》等を作曲した中田喜直は、ともに東京音楽学校の同窓でした。二人が育んだ友情から紡がれた作品及び音楽活動等に焦点を当て、自筆譜や写真などを公開します。



畑中良輔と中田喜直 (奏楽堂前)

写真提供
ナカダ音楽事務所
音楽出版ハッピーエコー

【公開日】日・火・水曜日(木・金・土曜日はホール使用のない場合公開)
【時間】午前9時30分~午後4時30分(最終入館は午後4時)
【入館料】一般300円 / 小・中・高校生100円

会場・問合せ: 台東区立旧東京音楽学校奏楽堂 台東区上野公園8-43
電話: 03-3824-1988 <https://www.taitogeibun.net/sougakudou/>
※コンサートへの未就学児の入場はご遠慮いただいております



展示

朝倉彫塑館

特別展「兄と弟 渡辺長男と朝倉文夫」

12月10日(日)まで

兄弟で活躍した彫刻家 渡辺長男(1874~1952)と、朝倉文夫(1883~1964)。両者の作品を比較しながら、それぞれの魅力や影響、兄弟関係に迫ります。



兄弟写真 1910年頃

常設展示内特集

「生誕180年記念 呉昌碩の世界 —その魅力と受容—」



呉昌碩「神在箇中」 1921年

12月16日(土)~令和6年3月6日(水)

当館所蔵の呉昌碩(1844~1927)作品および関連資料を展示します。
※書道博物館と同タイトルで開催します。

【開館時間】午前9時30分~午後4時30分(入館は4時まで)
【休館日】月・木曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)
12月11日(月)~15日(金)、12月29日(金)~1月3日(水)
【入館料】一般 500円 / 小・中・高校生 250円

※団体利用をご希望の場合は、必ず事前に施設へお問い合わせください
※お客様の安全確保および建物保全のため靴下の着用をお願いいたします

問合せ: 台東区立朝倉彫塑館 台東区谷中7-18-10
電話: 03-3821-4549 <https://www.taitogeibun.net/asakura/>



展示

一葉記念館

特別展「一葉が生きた明治の東京」

12月10日(日)まで

樋口一葉は1872年に生まれ、1896年に24歳の若さでこの世を去るまで、終生東京で暮らしました。また一葉がのこした小説作品もその多くが、一葉が生きた明治中期の東京を舞台としたものです。本展では錦絵や写真、新聞、雑誌などを通して、現代とは大きく異なる明治の東京の都市環境や人びとの暮らしぶりについて紹介し、一葉自身の日常や作品世界をひもときます。



明治10年代の吉原大門

【開館時間】午前9時~午後4時30分(入館は4時まで)
【休館日】月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)
12月11日(月)~15日(金)、12月29日(金)~1月3日(水)
【入館料】一般 300円 / 小・中・高校生 100円
※団体利用をご希望の場合は、必ず事前に施設へお問い合わせください

問合せ: 台東区立一葉記念館 台東区竜泉3-18-4
電話: 03-3873-0004 <https://www.taitogeibun.net/ichiyo/>



書道博物館

企画展「没後80年 中村不折のすべて」

後期 12月17日(日)まで

後期展では、画家・書家としての活動、森鷗外や夏目漱石など文豪たちとの交流、そして書道博物館の設立など、後年の不折の業績を顕彰します。

特別展「生誕180年記念 呉昌碩の世界 —その魅力と受容—」

令和6年1月4日(木)~3月17日(日)

今年度は、東京国立博物館、書道博物館の他に、朝倉彫塑館、兵庫県立美術館、ふくやま書道美術館においても開催し、国内に所蔵される呉昌碩作品や関係資料を公開します。呉昌碩愛好者たちによる貴重な収集品を通して、呉昌碩の世界をたっぷりとお楽しみください。



呉昌碩
《白蓮図軸》
1919年

【開館時間】午前9時30分~午後4時30分(入館は4時まで)
【休館日】月曜日(祝休日と重なる場合は翌平日)
12月18日(月)~1月3日(水)
【入館料】一般・大学生 500円 / 小・中・高校生 250円
※団体利用をご希望の場合は、必ず事前に施設へお問い合わせください

問合せ: 台東区立書道博物館 台東区根岸2-10-4
電話: 03-3872-2645 <https://www.taitogeibun.net/shodou/>



ご来館される皆様へのお願い

- 発熱や体調不良時にはご来館をお控えください。
- 施設内設置のアルコール消毒液による手指の消毒にご協力をお願いいたします。
- 施設内での咳エチケットにご協力をお願いいたします。



問合せ: (公財)台東区芸術文化財団事業係 台東区下谷1-2-11
電話: 03-5828-7591 (平日 午前9時~午後5時)

